

マネーストック

—通貨の総量を示す指標—

1. マネーストックとは

マネーストック (Money stock) とは、日本銀行を含む金融機関から供給されている通貨の総量を示す指標です。法人、個人、地方公共団体、地方公営企業が保有する通貨の残高を集計したもので、日本銀行が毎月公表しています。マネーストック統計では、通貨量を **M1**、**M2**、**M3**、**広義流動性**の4種類の指標で公表しています。

指標名：指標が対象とする金融機関
M1 ：ゆうちょ銀行を含む預金を取り扱う全ての金融機関
$M1 = \text{現金通貨 (日本銀行券、補助貨幣)} + \text{預金通貨 (当座預金、普通預金など)}$
M2 ：日本銀行、国内銀行(除くゆうちょ銀行)、外国銀行在日支店、信用金庫・信金中金、農林中央金庫、商工組合中央金庫
$M2 = \text{現金通貨} + \text{預金通貨} + \text{準通貨 (定期預金、定期積金など)} + \text{CD (譲渡性預金)}$
M3 ：M1が対象とする金融機関と同じ
$M3 = M1 + \text{準通貨} + \text{CD (譲渡性預金)}$
広義流動性 ：M1が対象とする金融機関のほか、中央政府、保険会社等、外債発行機関
$\text{広義流動性} = M3 + \text{金銭の信託、投資信託、国債、金融債、外債など}$

2. マネーサプライからマネーストックへ

この指標は、従来、マネーサプライと呼ばれていましたが、統計が見直されて2008年6月から「マネーストック」に名称が変更されました。金融商品の多様化に対応し、出資者

が限定された私募投資信託や銀行が発行する普通社債を新たに集計対象に加え、また、民営化されたゆうちょ銀行のデータを統計作成に反映させています。一方、証券会社や短資会社、非居住者が保有する通貨を集計の対象から除外するなどの見直しがされています。マネーストックでは「**M3**」が代表的指標となりました。

3. マネーストック (M3) と景気の関係

理論的には、マネーストックの代表的指標である **M3**が増えると景気が拡大し (景気が拡大するから **M3**が増加)、**M3**が減ると景気が後退する (景気が後退するから **M3**が減少) という相関関係があるとされています。つまり、**M3**が増えれば、借り入れることができるおカネが増えることから、景気が拡大することになります。逆に **M3**が減ると、借り入れることができるおカネが減ることから、景気が後退することになるわけです。

しかしながら、90年代後半以降は、図表2 (2004年1～3月期までは**M3**は旧マネーサプライ「**M2**+**CD**」の数値を代用した) でみるように、**M3**と景気の相関関係が弱くなっています。消費税引き上げを契機に97年以降景気が後退した時期は、**M3**が増加しても名目GDPが減少を続ける動きがみられました。これには、銀行や証券会社の破綻が相次ぎ金融システム不安などから企業や個人が安全資産の保有を進めたことが背景にあるとされています。一方、景気回復局面にあった2002年以降は **M3**の伸びが低下を続けました。これは、ゼロ金利が長引くなか、預貯金など **M3**の対象とな

っている金融商品から投資信託や株式など M3の対象外のリスク資産に資金が移動したことも影響したとみられています。景気との

連動性が薄れている M3 ですが、日本銀行は金融政策を実施するにあたってこの指標を参考数値として利用しています。

図表 1. マネーストック統計の内訳

対象金融機関	
	日本銀行 国内銀行(除くゆうちょ銀行) 外国銀行在日支店 信用金庫・信金中金 農林中央金庫 商工組合中央金庫
	ゆうちょ銀行、全国信用協同組合連合会、信用組合、労働金庫連合会、労働金庫、信用農業協同組合連合会、農業協同組合、信用漁業協同組合連合会、漁業協同組合
	中央政府 保険会社等 外債発行機関
対象金融商品	現金通貨 (72.1兆円) 日本銀行券発行高+貨幣流通高
	預金通貨 (403.8兆円) 要求払預金(当座、普通、貯蓄、通知、別段、納税準備) - 調査対象金融機関の保有小切手・手形
	準通貨 (536.4兆円) 定期性預金、外貨預金、据置貯金、定期積金
	CD(譲渡性預金) (24.4兆円)
	金融債、銀行発行普通社債、金銭の信託
	その他の金融商品(注1)
M1 475.9 = 現金通貨 72.1 + 預金通貨 403.8	
M2 737.0	
M3 1,036.7 = M1 475.9 + 準通貨 536.4 + CD(譲渡性預金) 24.4	
広義流動性 1,434.2	

(注1) その他の金融商品とは、金融機関発行 CP、投資信託(公募・私募)、国債・FB、外債

(注2) 計数は2008年8月の平均残高、単位(兆円)

図表 2. マネーストック(M3)と名目GDPの推移

